

キャラクター名  
カルミア・ラティフォルア

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	高校生
	オルクス				
オプション	ウロボロス	年齢		性別	♀
覚醒	死	衝動	吸血	初期侵食率	35%
出自	最後の希望	経験	勧誘	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	24
感覚	4	0	3	4		11	(非装備時)	24
精神	2	0	0			2	戦闘移動	29
社会	2	0	0			2	全力移動	58

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	19		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術: 園芸			知識: アンティーク			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識: 花守くん	3		情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
▼通常		0				オリジン+鞭+レンズ+刃+舞踏+チャージ
青薔薇の棘 ~59	白兵	16r+29		28		
青薔薇の棘 ~79	白兵	17r+29				
青薔薇の棘 ~99	白兵	18r+29				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品: リボン	
ティーセット	
ハンカチ(ピンク地に白と青薔薇)	
旅行券とリボン	
ベリルのプレスレット	
ブラックダイヤモンドの婚約指輪	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D: 古代種	P	N		
D: 傍らに立つ影	P	N		
D: 転生者	P	N		
花守 凜道	P 純愛	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1		常時	至近	自身	自動	R B	
効果:	衝動判定D+LV個。							
オリジン: プラント	5	2	マイナー	至近	自身	自動	R B	
効果:	シフト中【感】達成値+LVx2(10/12/14)							
オプティカルレンズ	2	3	マイナー		自身	自動		
効果:	AHEF攻+【感】11							
緑の鞭	3	2	マイナー	20m	自身	自動		
効果:	G1/攻+LV+2(5/6/7)							
コンセ: エンジェル	2	2	メジャー			シフト		
効果:	組合せC値-LV							
光の舞踏	1	2	MJ/RE		自身	白兵		
効果:	感覚で判定							
赤: 瞬速の刃	4	4	メジャー	武器	-	白兵		
効果:	判定D+LV+1(5/6/7)							
デトナイトチャージ	3	4	メジャー	武器	-	白兵	★	
効果:	攻+LVx4(12/16/20)							
影: 居合い	4	4	MJ/RE	-	-	白兵	D影	
効果:	達成値+LVx2(8/10/12)							
古: フラットシフト	1	0	MJ/RE		自身	自動	D古	
効果:	組合せEFコスト0							
雲散霧消	4	4	オート	至近	範囲選択	自動		
効果:	ダメージ-LVx5(20/05/30)							
喰らわれし費	2	1	オート	至近	自身	自動		
効果:	与ダメージ時OuEF攻+LVx3(6/9/12)							
転: 不死者の恩寵	1	9	クリソップ		自身	自動	D100	
効果:	回復LV+2D+肉体(4/5)D+1							

「わたし、グラナートの分も生きます。…さみしいけど、わたし、ひとりじゃないから…」

日本への移住を機に高校生となったレネゲイドビーイング。薔薇の花が好きで、住処である洋館でも『シークレット』や『ティアドロップ』といった薔薇を育てている。本体は亡き少女の記憶と洋館に咲く白薔薇が融合したものの。

とある事件をきっかけに長年連れ添った大切な従者を失った。しかし同時に得難い絆を結んだことで、彼のようににはならず済んだ。

《傍らの影法師》操るつもりがないのに、時折勝手に姿を現すことがある。《傍らに立つ影》緊急時は『彼』がカルミアの代わりに戦うことがある。

生きることが償いになるのなら、わたしはきっと、たくさん贖いの旅が出来る。いつかひとりになったその先も、わたしはずっと、贖罪のための歩みを続ける。

いつか、いつか、あなたの傍へ逝くときまで。わたしは大切な人たちの日常を守るために生き続けるから。

わたしにも、大切な人が出来ました。

